

2006年6月30日
愛知大学国際中国学研究センター（ICCS）国際シンポジウム
「日本・中国・世界－竹内好再考と方法論のパラダイム転換－」

鶴見 俊輔

主題 進歩をうたがう方法

- 1) 竹内好の出発 北京日記
- 2) 手がかりとしての魯迅 / 「阿Q正伝」 大衆の像
- 3) 中国文学研究所とその解散 混沌への道
- 4) 大東亜戦争への参加と屈辱の事件
- 5) 戦後 中国との講和へひとすじ
「故事新編」への共感

参考文献： 荀子、市井三郎